

聖マリア病院を過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院では、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会、研究倫理審査委員会にて承認されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、研究について詳細にお知りになりたい場合や診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。なお、解析用のデータが確定（データ固定）している場合は、研究データから情報を削除できませんので、ご了承ください。

① 研究課題名	永久ペースメーカー植え込み後の心機能低下および追加治療反応性と関連する因子の検討			
② 実施予定期間	承認後～2023年3月31日			
③ 対象患者	2009年1月1日から2020年12月31日までに当院でペースメーカー植込み術を行った患者さん			
④ 対象期間	2009年1月1日～2020年12月31日			
⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院			
⑥ 対象診療科	循環器内科			
⑦ 研究責任者	氏名	長岡 和宏	所属	循環器内科
⑧ 使用する資料等	<p>診療情報等より下記事項を調査します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢、性別、身長、体重、心房細動の有無、植込み理由となった疾患 ・植込み前の心電図波形 ・植込み前の血液検査（Hb、BUN、Cre、BNP、HbA1c） ・植込み前の心エコー所見（心腔サイズ、壁運動、弁膜症の有無/程度） ・植込み時の内服薬 ・植込み後の心電図波形 ・植込み後のペースメーカーチェック時のペーシングデータ ・植込みから1年以上経過後（フォローアップ時）の心エコー所見 ・心不全入院の有無 			
⑨ 研究の概要	<p>この研究では、ペーシング誘発性心筋症（PICM）の発症と関連する因子を、とくにペーシング波形に着目して検討すること、PICMに対する両室ペーシングの効果に影響を与える因子を検討することを目的としています。</p> <p>診療情報により得られたデータを用い、左室収縮能の低下および心不全入院に対する心電図波形（とくに左脚ブロック様波形）の影響を検討します。</p>			
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。			

⑪ 結果の公表	学会や論文等で発表いたします
⑫ 個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて（このことを「匿名化」と言います）管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。
⑬ 知的財産権	この研究の代表施設である九州大学に属します。
⑭ 研究の資金源	九州大学の部局運営費を財源として実施します。
⑮ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません。
⑯ データの2次利用	本研究で得られたデータ等の2次利用により新たな研究を行う場合は、改めて研究計画書を作成し、再度研究倫理審査委員会の審査を受けます。
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	聖マリア病院 循環器内科
	電話 0942-35-3322（代表）